

事業群評価調書(平成30年度実施)

基本戦略名	9 快適で安全・安心な暮らしをつくる	事業群主管所属	環境部自然環境課
施策名	(7) 人と自然が共生する地域づくり	課(室)長名	田中 荘一
事業群名	③ 豊かな自然とふれあえる、人にやさしい公園施設づくり	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 子どもたちが多様な自然を体験できる場所や機会を提供するとともに、高齢者が自然とのふれあいを享受できるバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した公園施設を整備します。また、増加する外国人利用客をはじめ、多様なニーズに対応した情報発信を行います。							(取組項目) i) 自然公園施設等の計画的整備の推進 ii) 人にやさしい施設への対応 iii) エコツーリズムの推進と地域資源を活かした商品・サービスの提供			
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	自然公園利用者数		目標値①	14,512千人	14,608千人	14,704千人	14,800千人	14,896千人	14,896千人(H32)	目標値には達しなかったものの、前年からの増加数で見ると96千人(0.7%)増加の目標に対し、実績は217千人(1.6%)増加と大きく上回っており、熊本地震(平成28年4月)の影響による減少から回復基調にある。今後も伸び率が高いインバウンド対策等の利用促進対策を継続的に図っていく必要がある。
			実績値②	13,695千人	13,912千人				進捗状況	
		②/①	94%	95%					遅れ	

2. 29年度取組実績(H30新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					29年度事業の成果等	中核事業		
				H28実績	うち一般財源	人件費(参考)		事業対象	29年度事業の実施状況 (30年度新規・補正事業は事業内容)	指標	主な目標	H28目標			H28実績	達成率
				H29実績								H28目標			H28実績	
H30計画	H29目標	H29実績	H30目標													
1	取組項目1	自然公園計画検討費	自然環境課	218	218	1,613	県内の優れた自然を享受する公園利用者及び地域住民 沓岐対馬国定公園において、利用計画の見直しの必要性について関係市と調整を行った。	活動指標	審議会(自然環境部会)回数(回)	数値目標なし	0	—	すぐれた自然風景地の適正な保護と利用の増進を図るため、公園計画の再検討を実施することにより、県内の自然公園の面積は県土の約18%を維持しており、生物の生息・生育の場として生物多様性の保全に寄与している。	○		
				141	141	2,012				数値目標なし	0	—				
				262	262	1,999				数値目標なし						
2	取組項目1	西海国立公園リニューアル整備事業(公共)	H28-31 自然環境課	41,086	3	2,420	西海国立公園の優れた自然を享受する公園利用者 自然環境整備交付金を活用し、西海国立公園内の重要な施設の再整備を行った。	活動指標	自然公園施設整備箇所数(箇所)	2	2	100%	国の交付金の交付額が要望より少なかったため、予定していた1箇所が実施できなかったが、トイレの改修や老朽化が進んだ施設の再整備を行い、利用者の安全性及び利便性が向上した。	○		
				27,174	68	4,023				3	2	67%				
				24,971	75	6,397				14,512	13,695	94%				
															14,608	13,912
			14,704													

3	自然公園施設補修費	自然環境課	14,650	2,550	6,452	県内の優れた自然を享受する公園利用者	既設の自然公園施設について、安全かつ快適な利用を図るため、維持補修を実施した。	活動指標	施設修繕箇所数(箇所)	5	6	120%	公園施設の不具合等が発見され次第速やかに補修を行うことにより、事故の予防に寄与した。	○
			7,948	7,948	6,437			5	8	160%				
			31,863	8,563	6,397			0	0	100%				
			0	0	100%									
4	自然公園維持管理費	自然環境課	6,425	6,425	3,629	県内の優れた自然を享受する公園利用者	自然公園の保護管理、金泉寺山小屋の指定管理、県有施設敷にかかると国有林野借上料及び清掃活動負担金等。	活動指標	清掃活動箇所数(箇所)	5	5	100%	適切な公園施設の利用に寄与した。	
			6,706	6,706	7,644			5	5	100%				
			6,295	6,295	5,997			0	0	100%				
			0	0	100%									
5	雲仙公園維持管理費	自然環境課	22,446	2,067	8,872	国立公園雲仙の優れた自然を享受する公園利用者	雲仙国立公園内県有施設等の維持管理を実施した。	活動指標	雲仙公園内公衆便所清掃箇所数(箇所)	17	17	100%	適切な雲仙公園施設の利用に寄与した。	
			25,015	7,181	9,655			17	17	100%				
			23,944	6,541	9,595			0	0	100%				
			0	0	100%									
6	宝原道路維持管理費	自然環境課	238	0	2,420	宝原道路利用者	公園車道宝原道路において、安全施設等の改修を行い利用車両の安全を図った。	活動指標	改修箇所数(箇所)	1	1	100%	公園車道宝原道路において、老朽化したガードケーブルの改修を行い利用車両の安全が図られた。	
			3,325	2,881	2,414			1	1	100%				
			3,801	3,493	1,999			0	0	100%				
			0	0	100%									
7	花のある街かどづくり事業費	自然環境課	1,188	1,188	2,016	道路沿線を通過する観光客及び地域住民	美しい長崎県づくり推進のために、長崎市の玄関口にあたる道路沿線に整備した緑地の維持管理を行った。	活動指標	緑地箇所数(箇所)	2	2	100%	年間を通じ、適切な道路沿線緑地の維持管理業務が図られた。	
			4,654	4,654	3,621			1	1	100%				
			615	615	1,599			0	0	100%				
			0	0	100%									
8	自然公園標識設置費	自然環境課	633	633	1,613	県内の優れた自然を享受する公園利用者	自然公園の適正な保護管理と利用の増進を図るため、案内板・解説板・指導標等を設置した。	活動指標	自然公園標識設置数(箇所)	1	1	100%	自然公園施設の利用増進を図るため、主要道路の分岐点に誘導案内標識を設置した。	
			737	737	1,207			1	1	100%				
			842	842	1,599			14,512	13,695	94%				
			14,608	13,912	95%									

9	緑といきもの賑わい事業	H26-32	12,507	0	5,646	市町、NP O等民間団体	長崎県生物多様性保全戦略に基づいた各種保全対策を推進するため、従来の緑化事業に加え、保全地域等の保全事業や希少野生動植物の保護増殖等に民間団体等とともに取り組んだ。	活動指標 補助団体数(団体)	5	5	100%	市街地における緑地が増加するとともに希少野生動植物の保全に貢献することができた。	○	
			10,382	0	6,437				5	5	100%			
			12,676	0	5,997				6	7	116%			
		自然環境課			6				6	100%				
10	取組項目 iii 島原半島満喫プロジェクト推進事業	H29-33	—	—	—	島原半島の優れた自然を享受する利用者	国立公園「雲仙」やユネスコ世界ジオパーク等の島原半島が有する豊かな自然観光資源を活用し、関係機関と連携を図りながら、インバウンド対策を進め、島原半島地域の活性化を図る。	活動指標 H29:協議会開催数(回)	2	3	150%	国立公園満喫プロジェクトについて、関係機関と協議を重ね、展開事業の計画策定を行い、計画に基づきインバウンドのニーズ把握調査やモニターツアー等の事業を実施し、効果的なインバウンド対策の基礎的データを得ることができた。		
			3,507	1,754	5,230				H30:国立公園利用コンテンツの造成数(個)	1				
			5,180	2,590	6,397				策定	策定	100%			
	自然環境課			—						H30:国立公園利用コンテンツを利用した観光客の満足度(%)				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 自然公園施設等の計画的整備の推進	公園利用者が訪れた公園内において、自然環境の魅力を十分享受し、かつ快適で安全に利用できるよう、公園全体の基礎的な部分の視点に立った公園計画の検討、自然環境整備交付金等を活用した効果的・効率的な整備を行い、引き続き対象となる公園が有する豊かな自然環境とふれあえる公園施設づくりを確実に推進する。
ii) 人にやさしい施設への対応	老朽化した施設の破損等により公園利用者の快適で安全な公園施設利用を阻害することがないよう、それぞれの施設に応じた維持管理を行うとともに、公衆便所や園路のバリアフリー化や標識等の多言語化を行い、快適な公園利用を促進している。今後も計画的な維持管理を行うとともに、補修が発生した場合は早急な対応を行っていく必要がある。
iii) エコツーリズムの推進と地域資源を活かした商品・サービスの提供	エコツーリズム等の持続可能な利用を推進するためのコンテンツを創出するとともに、地域資源の保全等に取り組む民間団体や市町等の多様な主体に対する補助を行っており、引き続き適切な事業への補助を行う必要がある。

4. 30年度見直し内容及び31年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	30年度事業の実施にあたり見直した内容 (H30の新たな取組は「H30新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	31年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目 i	自然公園計画検討費	—	—	国定公園・県立自然公園は、自然公園としての資質を維持するために保護と利用を計画的に実施する必要があり、今後も本事業を継続し定期的に区域内外の自然環境の変化や区域線の明確化、利用形態の変化等を検討していく必要がある。	現状維持
3	取組項目 ii	自然公園施設補修費	—	—	老朽化した施設の損傷や不具合により利用者の安全性が損なわれることがないよう、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
4		自然公園維持管理費	—	—	利用者の安全性や快適性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
5		雲仙公園維持管理費	—	—	雲仙公園利用者の安全性や快適性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
6		宝原道路維持管理費	—	—	宝原道路利用者の安全性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
7		花のある街かどづくり事業費	—	—	緑豊かな美しい長崎県づくりを推進するため、今後も本事業を推進する必要がある。	現状維持
8		自然公園標識設置費	—	—	利用者の利便性や快適性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
9		取組項目 iii	緑といきもの賑わい事業	NPO等の民間団体が行う生物多様性保全事業について、現行の補助率を引き上げ、より多くの団体の応募を促し、生物多様性保全に資する事業を促進する。	—	豊かな生活空間確保・地球温暖化防止のための緑化事業及び生物多様性の保全は今後益々重要な環境問題であり、今後も本事業を継続する必要がある。
10		島原半島満喫プロジェクト推進事業	観光庁の多言語解説整備支援事業を取り込み、更なる事業の展開を図っていく。	⑦⑧	引き続き、環境省が進める国立公園満喫プロジェクトの活用を図っていくとともに、関係機関の連携を強化し、30年度に取り組んだコンテンツや多言語解説整備支援事業の成果を活かしながら受け入れ環境の整備等を実施し、当事業の具体的な取組を推進する。	改善

注：「2. 29年度取組実績」に記載している事業のうち、H29年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点